

キラリ通信

鹿屋市立西原小学校

令和2年11月14日発行

No.3



西原小学校では、「自己を見つめ、他者のよさに気づき、互いに励まし高め合う子どもの育成」を目指し、子ども達の「心の教育」をテーマに研究をしています。キラリ通信第3号では、1年生の取組を紹介します。

1年生 道徳 主題名「わがままばかりしていると」 教材名「かぼちゃのつる」

自分勝手につるを伸ばしているかぼちゃが、他の注意を聞き入れずどんどん伸ばしていく。すいか畑に入って、すいかに「がまんしろよ。」と言って平気な顔でつるを伸ばしていく。通りかかった子犬にも注意されるが、「またいで通ればいいじゃないか。」と意地悪そうに答える。そして、車にひかれ、つるが切れてしまい、「痛い痛い。」と言って涙をこぼして泣く。

わがままをしないようにするために

役割演技



かぼちゃがどんどんつるを伸ばすとき、かぼちゃや周りの人はどんな気持ちだろう。

ペアでの交流



「私はこう考えたよ。」「ぼくはこう考えたよ。どうしてそう思ったの?」などお互いの考えを交流します。

授業後「気づき・なるほど・もっと」の観点で振り返りを行います

子どもの振り返りから

- ・自分も人のことを考えればよかった。
- ・相手のことも考えないとだめ。
- ・ずっと一人じめをしない。
- ・自分のことも考えて人のことも考えないといけない。人のアドバイスもやってみないといけない。
- ・かぼちゃのつるでいろいろなことに気付いた。

毎時間の振り返りを書くことで、自分の成長を感じることができるようになります。

生活科



「貸して。」「いいよ。」「一緒に使おう。」と協力して制作することができています。

図書



「この本おもしろそう。」「先に借りていいよ。」と譲り合うことができています。

体育



授業で使う道具を協力して運びます。

どの学年でも上記のように、教科では「わかった・できた・なるほど・もっと」、道徳では「気づき・なるほど・できた」の観点で振り返りを行っています。自己を見つめたり、友達の考えから納得できたことを書いたりすることで、自己の成長や他者のよさに気付けるようにしていきます。

切り取り

西原小学校の「心の教育」について御理解いただけたでしょうか。御感想をお寄せ頂けるとありがたいです。(11/30 〆切)

() 年 () 組 名前 ()

担任→川上先生

